

生駒市ごみ減量市民会議(H29年度第1回) 会議録(要旨)

1. 開催日時 平成29年4月14日(金) 午後1時30分～午後3時40分
2. 市役所4階401・402会議室
3. 会議次第

報告事項

- (1) 辻町アーバンライフ自治会懇談会について

協議事項

- (1) 平成29年度の事業活動計画案について
- (2) いこま寿大学実務講習会について
- (3) 環境フェスティバル
- (4) 生ごみ処理器「キエーロ」製作講座

4. 出席者(敬称略)

【参加者】坂本 剛伸、藤堂 宏子、藤澤 清二、永野 洋子、山下 博史、田中 勝久、藤尾 庸子、石川 千明、下山 一則、奥田 高弘、小山 忠昭、山口 昭夫、藤中 章夫、寺井 孝幸、大隈 利明

【事務局】吉岡(市民部長)、吉川(環境保全課長)、竹本(環境保全課主幹)、大窪(環境モデル都市推進課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)

5. 欠席者(敬称略) 淡輪 勝人
6. 傍聴者 2名
7. 会議内容(要旨)

●部長挨拶

●辻町アーバンライフ自治会懇談会について

事務局 <資料「生駒市ごみ減量市民会議 辻町アーバンライフ自治会懇談会(要旨)の説明>

座長 事務局の説明に対して質問はありますか。

参加者 自治会全体の世帯数は分かりますか。今までの自治会懇談会でも総人口のことが触れられていません。

事務局 今までの分も調べますし、今後は事前に調べます。

座長 参加した方の感想をお願いします。

参加者 マンションということもあってか、ごみに感心がうすいという印象でしたが、キエーロの話には感心が高いと思いました。ごみ有料化をしてから、ごみは減ったというご意見が多く、ごみ有料化には効果があると再認識しました。

座長 マンションの懇談会は今回初めてです。懇談会の様子では、管理人が分別して袋づめもしてくれるようですが、他のマンションでもそういったスタイルが多いのでしょうか。

参加者 マンションによるかと思います。ごみの日だけ来て清掃をしてくれる管理人や

常駐でいてくれるところとあります。袋詰めまでしてくれる管理人はあまりいないかと思います。全部のごみの袋詰めでもないと思います。

参加者 収集している印象として、大きいマンションでもここまでのところはないと思います。例えば、分別が間違っていて未回収のものの後片付けやごみ集積所の片づけは基本的に管理人がされています。このマンションの場合、管理人がプラスチック製容器包装の分別もしています。

座長 こういったのは例外ということでしょうね。他のご意見があればお願いします。

参加者 マンションや街中などの人はよほどでない、多少感心があってもキエーロなどされなれないと思います。マンションのベランダにスペースがないと思います。

参加者 一戸建てのようにごみを外に置けないので、マンションのほうが生ごみのおいは切実ではないかと思います。においのきついものだけでも片づけられたら良いなと思っているのではないかと思います。

座長 マンションの人もキエーロに対しては興味がある様子ですね。伝える方法として、キエーロを使うと台所のにおいが減るというメリットがあるということと言えます。

参加者 そもそもキエーロをしらない人が多いと思います。

参加者 広報にキエーロの作り方を掲載したことはありませんか。

事務局 掲載したことはありません。

参加者 材料を集める必要もありますし、作るのにも2時間くらいかかります。

参加者 市役所で買って帰って簡単に組み立てられる方法を考えたら、より普及するのではありませんか。

参加者 今も市役所でキエーロの販売をしていますね。

事務局 販売ではなく、購入したキエーロに補助をしています。使ったあとのご意見はこれから聞く予定です。

参加者 市役所でのキエーロの実験はどういう方式を使っていますか。

事務局 全種類していますが、今はやっていません。

参加者 この処理器はどんなものだと説明する資料がないといけません。まず実験して、結果を確かめないといけません。

参加者 この会議の皆さんで使用もしましたし、葉山町や他府県でもキエーロの実験結果はインターネット上にたくさんあります。皆さんで使った結果とすでにある結果の良いところを取り上げれば良いかと思います。

座長 自治会懇談会については以上ですね。全部で126自治会あります。これからも順次やっていきます。

●平成29年度の事業活動計画案について

事務局 <資料「平成29年度ごみ減量市民会議事業活動計画①(案)」「平成29年度ごみ減量市民会議事業活動計画②(案)」の説明>

座長 前回の会議で、去年の実績を踏まえて今年度をどうするかを議論しました。基

本的な考え方の 3 点を事業活動計画①案に掲載しています。昨年度仕入れた情報をいかに整理して実践にしていけるかがポイントになっています。29 年度の活動計画案として①～⑦があります。前回、②～⑦はおおむねの方向性は決まったかと思いますが、①が議論途中でした。分別についての補助的なものを作るのか本格的なものを作るのかという二つの意見が出ました。事務局と検討しましたが、今年度は聞いた質問を整理して、補助的なちらしを作っていく、それを積み重ねてはいかがかかと思ひます。現在のガイドブックがなくなったときに、積み重ねたちらしをベースに新しいガイドブックを作成するのはいかがかという提案です。

参加者 基本的にそれで良いと思ひます。先日、豊中のごみ施設を見学したときに、ごみ分別アプリを採用していることを知りました。ごみガイドブックの内容がほぼ入っています。スマートホンの画面に「今日は〇〇ごみの日」と自動的に出ます。奈良県内は斑鳩町が導入していて、葛城市もするようです。費用はかかると思ひますが、若い人でも簡単に見てもらえるかと思ひます。

座長 アプリはいろいろあると思ひます。市が認めるかどうかだと思ひます。課題として、若者の意見が聞こえてこないということがあり、若者家庭の対策としてアプリは有効なツールだと個人的には思ひます。とりあえず今年度は補助ちらしという方向性で良いですか。

参加者 <異議なし>

座長 基本は市が作っているごみガイドブックであり、それに足りないものを作成していきましょう。次回ごみガイドブックを作成するときには、補助ちらしも併せていきましょう。②は、具体的なことは決まっていますが、行ける施設の見学をしましょうということです。リサイクルのプロセスをしている施設をまずは事務局レベルで下見したいと思ひます。広報で定期的に PR することを事務局で調整してもらっています。内容は、単発でなくシリーズもので掲載していけば良いかと思ひます。次に、⑥のリユースシステムはあまり知らない人の方が多いのではないかと思ひます。具体的 PR するために、市民が知っているかどうかなどの情報収集が先だと思ひます。②～⑥でご意見等がありますか。

参加者 <異議なし>

座長 では、キエーロについて議論をしたいと思ひます。去年会議が発足してから 3 月まで、会議のメンバーでキエーロをトライアルし、その結果も出してもらいました。その結果、キエーロだけでごみ半減は難しいということが一つの結論かと思ひています。消えるものや消えないものを事前に聞いていましたが、皆さんの結果は過去の評価とだいたい同じでした。燃えるごみの 50%近くが生ごみのため、生ごみ削減のために市は生ごみ処理器の補助率を高めました。電動式は音がしたり、電気代がかかったりして、使わない人が増えていることもあり、現在はキエーロを推進しています。この会議では、キエーロを生ごみ減量の一つのツールとして普及させていこうということです。会議のちらしにも、今年

度の活動内容としてキエーロを挙げています。効果的なキエーロの使い方を知らせるため、キエーロ葉山の DVD やインターネット上のいろんな情報はありますが、会議ではキエーロトライアルの情報を踏まえて、キエーロのガイドを作り、補助金を活用した人などをこまめにフォローすることを今年推進したらどうかという提案です。キエーロを一般家庭に普及するため、専任チームを作り、その人を中心に普及していけば良いかと思います。チームの役割として、一つはガイドの作成です。6月のキエーロ製作講座のために、事務局でたたき台を作ります。例えば環境フェスティバルやいこま博でキエーロを展示して DVD を流しましたが、ガイドを作って講習会をすれば良いかと思います。また、実際に使っている人に、こまめに意見を聞いていく役割も持つチームを組んだらどうかという提案です。

参加者 DVD もガイドもすでにあるので、新しく作る必要もないと思いますし、たくさん書いてあっても、実践しないと納得してもらえないと思います。すでに使っている人の経験談を広報などに載せることは賛成です。

参加者 やはり自分でやってみて、初めてわかるものだと思います。様々な方式はありますが、なぜ良いのか説明できるように会議で持っておかないといけません。

座長 「使ってください」と言うときに、相手をその気にさせるツールが必要だと思います。

参加者 キエーロは「消える」という表現が微妙です。冬場も消えにくいですし。実際使って「面倒だ」と思われないうために、こういう欠点もありますが、こういうメリットがあるとアピールしないといけません。

参加者 キエーロの使い方はインターネット上にたくさんあります。葉山町の使い方は少し説明不足かなと思います。生駒市バージョンの説明書を作るのは良いと思います。

座長 どうやったら興味を持ってもらえるかということを考えて、生駒市バージョンを作ろうということです。説明書があっても分厚ければ読まれません。広めるために、関心を持たせて、さらに継続していけるようなツールが必要だと思います。たたき台は事務局で作ってもらい、チームを組んでキエーロの普及を取り組んでもらうという考え方についてはいかがですか。

参加者 生ごみの処理として、奈良先端科学技術大学院大学の先生から、乾燥させることは一番簡単で何もいらなうと言われました。実験したところ、確かに何もありません。ごみの袋を軒先につるしておくだけです。欠点はコバエですが、何もせずにごみの量をかなり減らせられます。

座長 自治会懇談会で、工夫を聞くと乾燥させているということをお聞きすね。

参加者 もともと乾燥させて減らすというのは、電動式生ごみ処理機の考え方と同じで、電気を使わない乾燥ということですね。

参加者 この会議では生ごみの処理方法としてキエーロの普及に特化するということですが、そもそもの問題はごみ量の削減です。生ごみのごみの中の大きい割合を

占めているという PR やどう減量できるかという話が先にあって、そのあとにキエーロを普及するという順番だと思います。ごみの 25%削減に向けてという目標があり、生ごみの減量化のために生ごみの水分をとばす必要があることをより PR することが大切だと思いました。

参加者 水分をとばすということが家庭でできるかという話です。

参加者 キエーロも同じです。マンションで関心が高かったということでしたが、土の入手に困ると思います。

参加者 キエーロ普及に至った経緯として、生ごみ処理は行政でする大規模なものと同々の家庭でするものがあり、この会議では個々の会議でするものに限定されます。生ごみ処理の方法として、種類があるということも分かっている中で、各家庭にあったものをしてもらうということがベースです。電動処理のタイプは、市が補助金を出してたくさんの人に使ってもらったが、使われなくなってきた現状があります。コンポストでは肥料ができるので、それを使いまわせる人に限定されますが、生駒市の場合は畑を持っている人が少ないので、それを普及させることは難しいという現状分析があります。

参加者 キエーロの普及特化の前に、生ごみの水分をとばすだけで減るということをもっと PR する活動の方がより効果的だと思います。

参加者 水分をとばすということが難しいと思います。放置させて乾燥させる方法やしぼる方法がありますが、家庭でされている「しぼる」という方法では削減量はしれていると思います。

座長 生ごみを考えないとごみの減量ができないということが前提です。現実的にできることをやろうという中で、自治会懇談会、アンケートなどで生ごみ処理の工夫を聞くと、水切り・土にうめる・乾燥させるはすでにやっている人がいます。その中で、どんな方法でごみを減らすかということ、各家庭に一步一步こまめに話していくことが会議の位置づけです。生ごみを減らす原理を理解していない人には、水切りの話をしていけば良いと思います。

参加者 関連して質問ですが、水分が多いと運搬や焼却のコストは高くなるのですか。

事務局 焼却の際、水気があってもあまり関係はありません。

参加者 現在、積載量は守れているので、運搬コストにもあまり影響はありません。

事務局 水分が減ると焼却量が減ります。焼却量が減れば、焼却代金は当然減ります。

参加者 水切り運動を一般市民は知らないなので、常に言い続けるべきことだと思います。

座長 水切りの効果を知らないところに伝えていくことが効果的です。

参加者 ちらしでも、会議が何をしているかではなく、「水切りをしてほしい」など何をしてほしいのかを書くべきではありませんか。会議が何をしようが市民にとって関係はありません。市民に「これをしてほしい」が伝わったほうが良いと思いますし、「今年これをしたからごみはこれだけ減った」とあれば減量効果があると実感してもえます。やりたい人にはキエーロも提案すれば良いですが、現時点でそこまで市民の意識が高いと思えません。ごみの減り幅を増やさなくて

はいけないので、まずは水切りを徹底してやったら良いかと思いました。モデル事業でも水切りを徹底した結果、ごみ集積所が汚れることがなくなりました。ポイントをしばって伝えていくべきで、キエーロ普及の前に会議が原点に立ち返って水切り運動からやった方が良くと思います。

座長 水切りができていない人は、他の資源の分別も総じてできていないと思います。全くしていない人に対して、水分をとばす話はこれからもしなければ良いと思います。今はキエーロの議論です。

参加者 モデル事業を取り組んでいた地域は取組が進んでいるが、そうでない地域の方が多数です。

座長 そういったところへは、今後も水切りのことを話していけば良いと思います。

参加者 各家庭での生ごみの処理はさまざまで、ネットを使っているところへ水切りをしてほしいとPRしていくことも活動計画でしていけば良いと思います。キエーロは水切りしなくて良いというメリットがあります。

座長 タイプによって欠点もそれぞれであるので、判断してもらえば良いと思います。

参加者 キエーロの前に、まず水切りを始めようとPRした方が良いのではないかということだと思います。

参加者 さらに言えば、水切りということではなく、水分を減らすことがごみの削減につながるということをPRするのはいかがでしょうか。

座長 生ごみは水分をのぞかないと減らないということが原点です。この原点に温度差があることが分かりました。水切りのことは、懇談会で自分のことばで伝えれば良いと思います。

参加者 私は水切り運動を知りませんでした。地域でよごれたごみが問題になりました。ごみを少なくするという意識でなく、ごみ集積所をきれいにするために水切りを自治会でしていました。水切りがごみ削減につながることはPRしてほしいです。

参加者 ごみ有料化になり、限られたスペースにごみをいれようとします。水分が多いとごみも大きくなるので、水分をしばった方が良いというレベルではないでしょうか。

参加者 ごみ袋を小さくしようという意識はあるので、ごみの有料化は成功したということですね。

参加者 水切りも大事ですが、無駄なものも買っていますね。食品ロスの啓発として、今度体験型で料理しながら分別して、むだに捨てない食べ方を実践してもらおうと計画しています。

座長 原点に戻り、水切りというキーワードを伝えていきたいと思います。キエーロは一つのツールとして進めていきたいです。

事務局 <「生駒市ごみ減量市民会議ちらし」の説明>

座長 ちらしの4に水切りのキーワードを入れてください。

参加者 ちらしの内容は、何をしているかではなく、何をしてほしいかという方が良い

かと思えます。

参加者 ちらしはどこで配布しますか。

事務局 環境フェスティバルなどで配ります。

参加者 会議がやっていることは箇条書きにして、こんなことがごみ削減に効果があるという表現で、市民に訴えるような内容の方が良いと思えます。例えば、水切りや分別などです。

参加者 市民にごみ減量のために会議がやっていることをPRすることも必要だと思えます。市民にごみ減量のためにしてもらいたいことはいろいろあります。例えば食品ロスのためにはこんなことをしてほしいというちらしを別途作っています。

参加者 市民会議のPRをする効果が分かりません。

参加者 会議の存在や何をしているか知らない人が大多数なので、知ってもらいたいと思いついたちらしです。

参加者 環境フェスティバルは知っている人しか来ないと思えます。

参加者 配る場所は考えた方が良くと思えます。今話しているようなちらしは別途考えてすべきです。

参加者 ごみの有料化後、行政が何をしているのか、行政は努力していると市民に知らせるちらしです。何を市民に一番お願いしようかということを検討したときに、そんなちらしを作れば良くと思えます。

座長 会議を知らない人が多く、行政は市民と企業と一致して進んでいく活動をしていることを認知してもらうことがまず先だと思えます。

参加者 広報を利用して啓発をするのはいかがでしょうか。

座長 広報を含め、いろんな方法があるので、できることはたくさんしていきたいです。

参加者 会議のことは広報でアピールしましたか。分別教室をするというのは広報に掲載しましたか。育児ネットの中でしてほしいという団体はいます。

事務局 1月合併号に会議や自治会懇談会をしているということは掲載しました。

座長 教室をしてほしいという団体がいれば、話を教えてほしいです。行政といっしょに教室をやりたいです。

参加者 ちらしの補足ですが、アンケートでリユースシステムを作してほしいという意見があり、現在実施しているものをまず知ってもらおうということが会議の意見で出たので、ちらしに掲載しています。自治会懇談会の中で、小型家電の回収ボックスを知らない人が多かったので、これもちらしに掲載しています。

参加者 アンケートで、「ごみ集積所を増やしてほしい」「小型の不燃ごみを電話申し込みなしで出したい」という意見があり、ごみの出しやすい環境づくりが大切です。それは行政としてどう思っていますか。ごみの有料化の使い道を教えてほしいという意見は、市民に還元してほしいということで、ごみの有料化によってごみの戸別収集をしてほしいという意見もあります。

参加者 この会議は制度について検証する場でありませんと宣言されています。ごみの

有料化のPRはしますが、改善点・反省点は検証しません。

座長 アンケートや懇談会で出てきた要望を市に伝えるのは良いと思いますが、会議では施策を議論するのはやめようということです。

参加者 ごみの有料化で大きく制度は変わっています。検証することによって良い点・悪い点などが分かります。

座長 この会議ではごみを減量することに対して考える場であり、制度がどうなのかという議論は対象外です。

●いこま寿大学実務講習会について

事務局 <いこま寿大学実務講習会の日時の説明・参加者確認>

事務局 今までの自治会懇談会のように説明したあとに懇談会形式で行います。

参加者 寿大学で料理教室をしながら分別の話をします。食品ロスの啓発もできると思います。

参加者 育児ネットのリーダーの交流会を行います。リーダーが分別教室をやりたいとなったらそのサークルでできます。

事務局 概略をリーダーに伝えて、教室をやってもらえるよう呼びかけるのは事務局だけで行っても良さそうですね。

●環境フェスティバルについて

事務局 <環境フェスティバルの日時の説明・参加者確認>

座長 いこま博と同様に簡単なアンケートをして 150の指定袋を配布したいと思います。

事務局 簡単なアンケートは700人分程度しても良いと思っています。いこま博と違い、会場が一つなので回答者数がより多くなる見込みです。

●生ごみ処理器「キエーロ」製作講座について

事務局 <生ごみ処理器「キエーロ」製作講座の日時・参加者の確認>

座長 キエーロの説明ガイドのベースは事務局で作ってもらい、それをもとに説明してもらいたいです。

●その他

座長 食品ロスをどう進めていくかということをお話したかったのですが、今回は時間がないので次回話したいと思います。

参加者 秋ごろに公募して、市民に料理をしながら分別の話をし、実践型の食品ロスの啓発イベントをしたいと思っています。またご協力をお願いします。

座長 本日はありがとうございました。